



TITLE:

たより

AUTHOR(S):

---

CITATION:

たより. 天界 1936, 16(181): 276-277

ISSUE DATE:

1936-04-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/167207>

RIGHT:

## た よ り

——(太陽の観測者三澤氏より)——

山 本 先 生

拜啓 平素御無沙汰のみ仕り居り御申譯御座無候。さて本朝東京日々新聞紙上に於て、先生が學問の實際化に對し大警告を御發表遊ばされ候由承り、先づ第一に先生の御健在を祝し、更に今迄先生が既にその實際化に對し日夜御奮闘の御業績を謝し、然かもそれが昨今流行の單なる掛聲や口先きだけの事でないのに一段の強味さへ感じ、洵々感謝の外御座無候。降つて私事其後御蔭様に身體の具合非常に良好、もはや平常と何の變りも無之様にさへ相成候。然しこゝらが潮時とも考へ今回退職致し今後は専ら地理學の實際化へ向つて微力を捧げたく決心いたし居候。××兩大學、兩××等にそれぞれ地理學は講ぜられ演ぜられ居り候へども學問といふ立場からか、純趣味にも這入りきれず、さうかといつてそこらから色々數學公式様のものを集め來つて挿入しては見るものの眞の科學にもなり切れず、勿論實際化されず、地方農商工等の産業の發達には夢にも何等の役割も果し得ず、果ては「地理學無用論」さへ飛び出て居る現状、是は何も地理學に罪があるのではなく、全く地理學者の罪である事は明瞭に御座候。自分は學者には無之又左様にも思つては居り申さず候へ共、眞に地理學の有用化、實際化を目標に「地方開發は地理學者の手で」をモットーに今日に至り候もの、今後もそれで邁進の考に御座候。偶々今朝先生の御消息を拜し御健在を祝し申上ぐると共に近況並に近懷を申上げ、御無沙汰の御詫びを申上候次第に御座候。皆々様によろしく御願申上候 敬具

昭和11年4月8日

三 澤 勝 衛

## 廣 告

エディントン卿著 『膨脹する宇宙』

村上忠敬氏譯 恒星社版

定價 ￥ 1.80 (送料10銭)

◎本會々員に限り定價の1割引にて御取次ぎ致します。

御申込みは——東亞天文協會事務所へ (振替口座大阪56765番)

## た　　よ　　り

山　本　先　生

何時も朝日新聞紙上にて先生の星空の解説を楽しみにしてゐる1人で御座ぬます。

全くの素人、只何といふ事なしに空を眺め、星を見、月を見る事が好きなのです。満天に輝く星の名さへ存じません。どんなロマンスがあり、どんなさゝやきを私共にしてゐるか、近代科學の究めが何處まで地上の我々と接近して來たかを知る由もないのですが、只星を見る事が好きな爲に、先生の解説を唯一の教へとして楽しんで居ります。昨年まで發表されました星座圖、あれが一番解り易くて結構です。うらむらくは圖の小さい事、解説の簡単な事、もう少し詳しくと思つた事が度々で御座ぬました。何卒來月からは再びこの圖を復活して頂き度く存じます。

此の頃、夜寒の空の賑やかな事、綺麗な事、いてついた夜道を急ぐ時、冷たく光る星の装ほひ、然し、なつかしみを覚えつゝ見上ぐる時、何とも言へぬ嬉しさを感じます。ふと、舊約の遠い昔を思ひ出づる様で御座ぬます。未だに解りませんのは白鳥座とか、牛、オリオン等々の諸星座のいはれ、何うして見わけるのが見當がつきません。詳しく知り度くは御座ぬません。常識の程度で、星の事についての参考書を御教へ願ひ度う存じます。

土星のリングも神祕的な想ひを私共に與へて居ります。望遠鏡で見る星の世界は何んなに綺麗で御座ぬませうか、私の見たいものの1つ。ですが、中々實現され相に御座ぬません。

去る9日“血の月”として珍らしい皆既月食。素晴らしいもので御座ぬました。昨年を思ひ出して、凄かつた夜更の月を再びみました。物好き、只々星を愛し、月を見る事の好きなといふ丈けの事です。

何卒來月から星座圖を御復活下さいませ。初めての書信に勝手な事を書きました。恐れ入りつゝ、お寒さの折柄御自愛の程祈ります。

1　月　24　日

木　田　恆　子